

(2) 大阪市域のアンケート調査結果

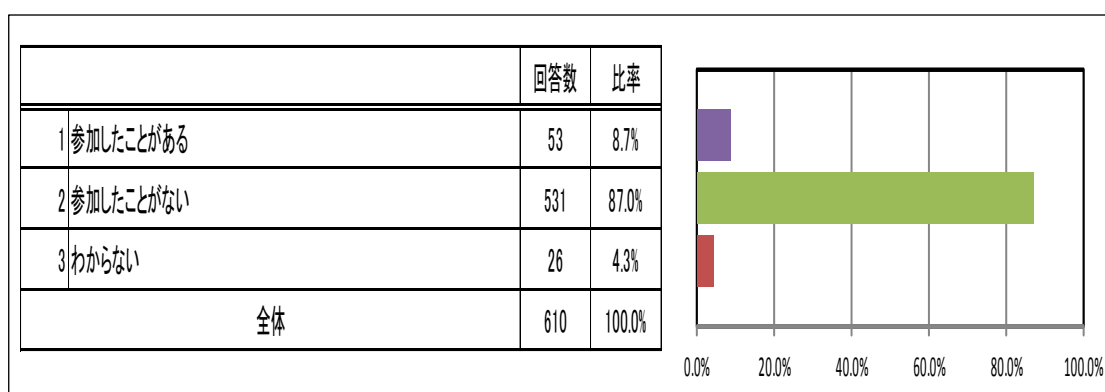
市政モニターアンケート 『「環境関連の事業」に関するアンケート』の調査結果

実施期間：平成25年11月8日（金）～11月18日（月）

回答者数：610名/914名（回答率66.7%）

①環境関連のイベント・講座の参加度について

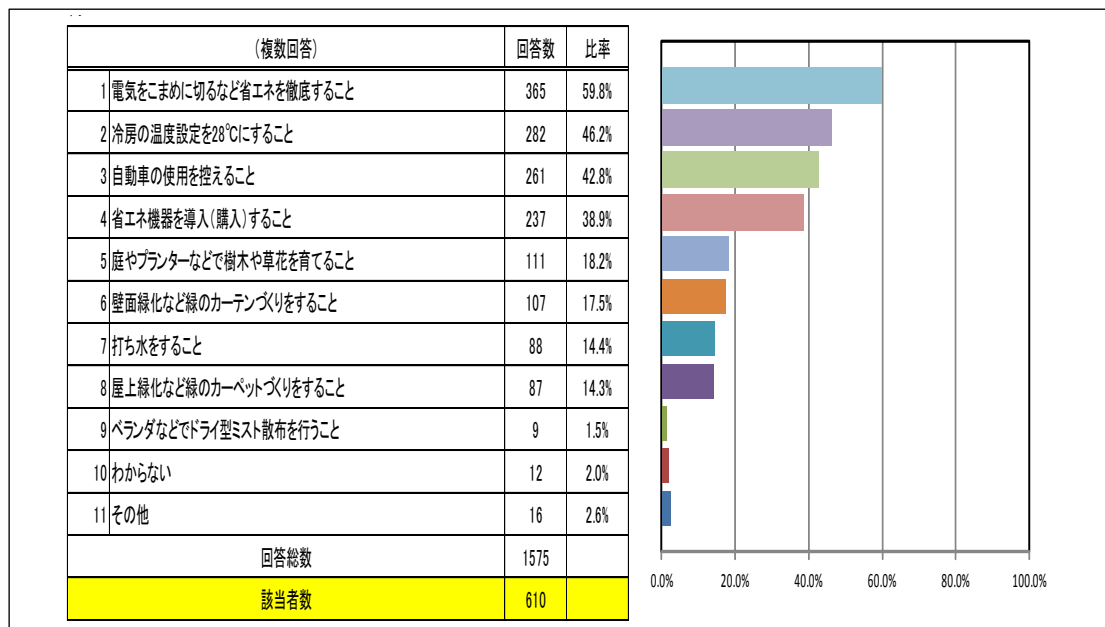
- 「参加したことがない」の割合が9割弱と最も高く、「参加したことがある」が1割弱と低い。



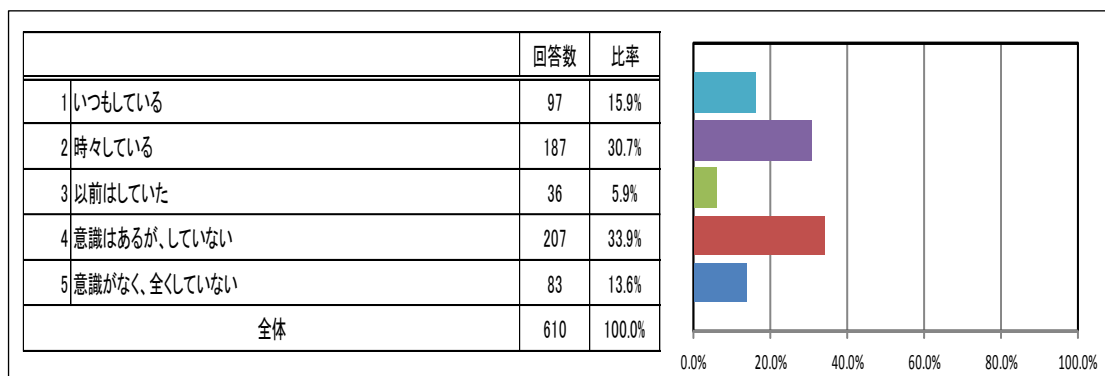
②身近なヒートアイランド対策について

- ヒートアイランド現象を緩和するための、個人による効果的な取組みについては「電気をこまめに切るなど省エネを徹底すること」の割合が6割と最も高く、次いで「冷房の温度設定を28℃にすること」、「自動車の使用を控えること」、「省エネ機器を導入（購入）すること」が4割程度である。

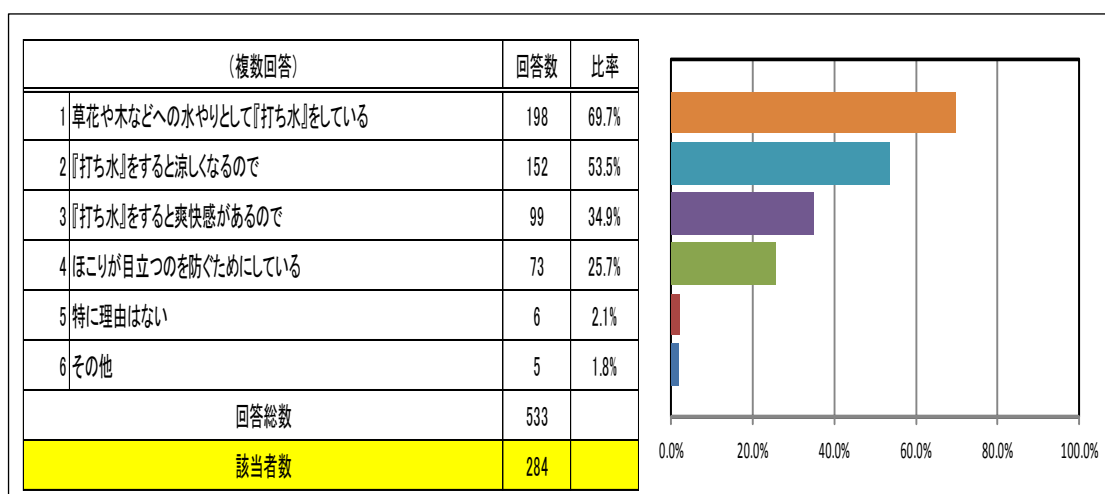
- 樹木や草花を育てたり、緑のカーテン・カーペットづくり等の緑化により温度を下げる取組みよりも、省エネの取組みの方がヒートアイランド現象の緩和に効果的と思われる。



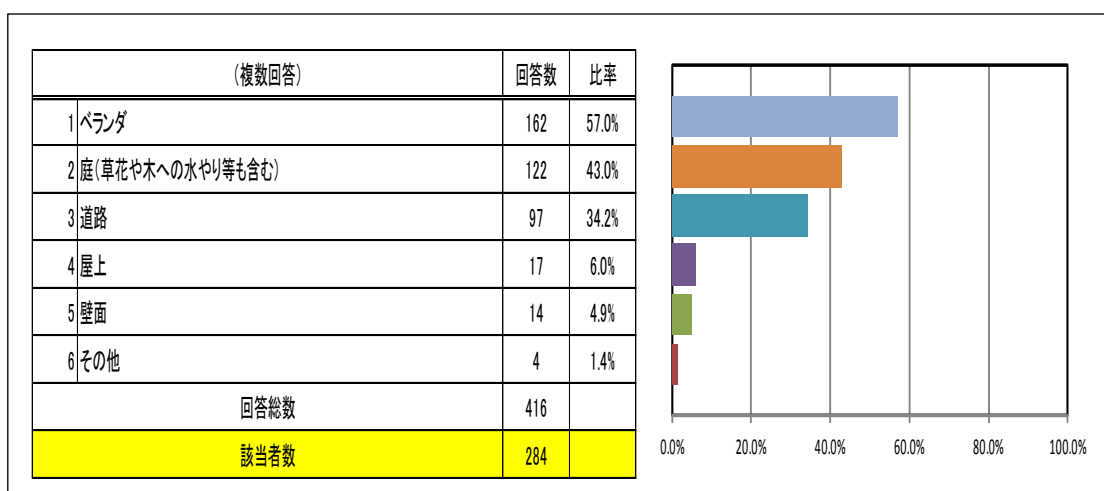
●打ち水の取組み状況については、「いつもしている」、「時々している」と回答されている現在「打ち水」をしている層と、「以前はしていた」、「意識があるが、していない」、「意識がなく全くしていない」と回答されている現在『打ち水』をしていない層は、ともに約5割とほぼ同程度である。



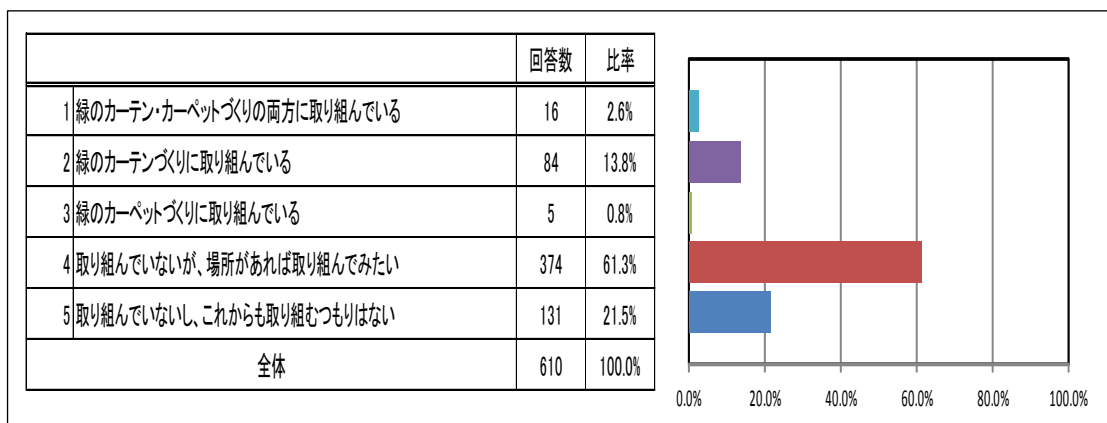
●打ち水をする理由として、「草花や木などへの水やりとして『打ち水』をしている」が7割と最も高く、次いで「『打ち水』をすると涼しくなるので」が5割程度である。



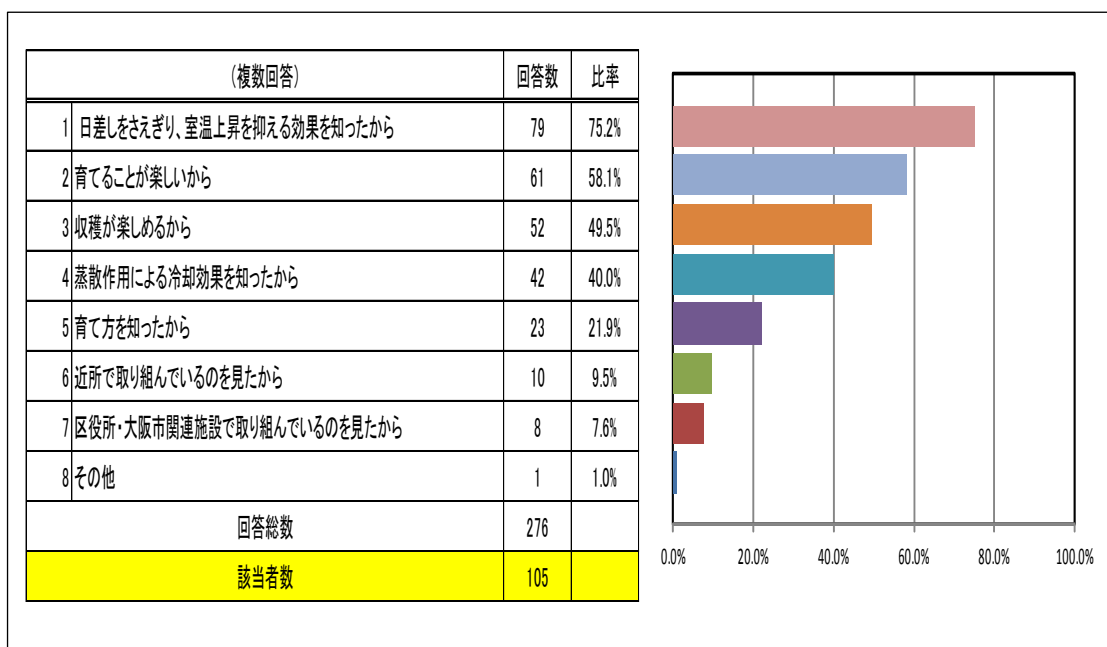
●打ち水の実施場所として、「ベランダ」が6割弱と最も高く、次いで「庭（草花や木への水やり等も含む）」が約4割、「道路」が約3割である。



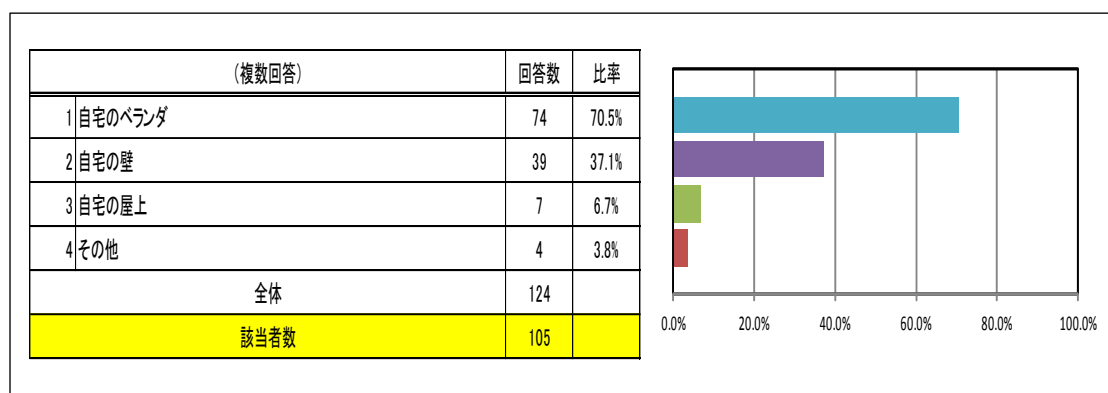
●緑のカーテン・カーペットづくりの取組み状況については「取り組んでいないが、場所があれば取り組んでみたい」が6割と最も高かった。「緑のカーテン・カーペットづくりの両方に取り組んでいる」、「緑のカーテンづくりに取り組んでいる」、「緑のカーペットづくりに取り組んでいる」と現在取り組んでいる割合は2割弱である。



●緑のカーテン・カーペットづくりに取り組もうとしたきっかけについては、「日差しをさえぎり、室温上昇を抑える効果を知ったから」が7割を超え、次いで「育てることが楽しいから」が6割弱、「収穫が楽しめるから」が5割である。



●緑のカーテン・カーペットの実施場所については、「自宅のベランダ」が7割と最も多く、次いで「自宅の壁」が4割弱である。



③クロス集計結果について

●「環境関連のイベント・講座の参加度」及び「打ち水の実施状況」の関係についてクロス集計の結果、環境関連のイベント・講座に参加したことがある人の方が、参加したことがない人より、打ち水を実施している割合が高いことがうかがえる。

		打ち水の実施状況					
		している層 (選択肢 1・2)		していない層 (選択肢 3~5)		合計	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
環境関連 のイベン ト・講座 の参加度	参加したことが ある (選択肢 1)	30	56.6%	23	43.4%	53	100.0%
	参加したことが ない (選択肢 2)	242	45.6%	289	54.4%	531	100.0%
	合計	272	46.6%	312	53.4%	584	100.0%

●「環境関連のイベント・講座の参加度」及び「緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況」の関係についてクロス集計の結果、環境関連のイベント・講座に参加したことがある人の方が、参加したことがない人より、緑のカーテン又は緑のカーペットづくりに取り組まれている割合が高いことがうかがえる。

		緑のカーテン・カーペットづくりの実施状況					
		している層 (選択肢 1～3)		していない層 (選択肢 4・5)		合計	
		回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
環境 関連の イベント・ 講座の 参加度	参加したことがある (選択肢 1)	18	34.0%	35	66.0%	53	100.0%
	参加したことがない (選択肢 2)	83	15.6%	448	84.4%	531	100.0%
	合計	101	17.3%	483	82.7%	584	100.0%